



平成19年9月28日

各位

会社名 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
 代表者名 執行役社長 小野 功
 (コード番号: 9694 東証第一部)
 問合せ先 CSR本部 広報IR部長 河内 延泰
 電話番号 03 5780 6447

当社の親会社 株式会社日立製作所
 代表者名 執行役社長 古川 一夫
 (コード番号: 6501 東証一部・大証一部・名証一部・福証・札証)

平成20年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年7月26日の第1四半期決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日から平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想数値の修正

(1) 中間業績予想(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年7月26日発表)	80,500	4,700	4,200	1,900	30.26
今回修正予想(B)	81,000	5,200	3,600	1,700	27.08
増減額(B-A)	500	500	600	3,600	57.34
増減率(%)	0.6%	10.6%	14.3%		
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期中間)	75,484	3,420	2,740	1,365	21.29

(2) 通期業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年7月26日発表)	168,000	10,800	9,800	5,300	84.42
今回修正予想(B)	169,000	11,500	9,800	2,000	31.86
増減額(B-A)	1,000	700		3,300	52.56
増減率(%)	0.6%	6.5%		62.3%	
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	156,409	9,024	8,108	3,446	54.02

2. 平成20年3月期 個別業績予想数値の修正

(1) 中間業績予想(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年7月26日発表)	74,800	4,240	4,000	2,000	31.86
今回修正予想(B)	75,300	4,800	4,700	6,700	106.72
増減額(B-A)	500	560	700	8,700	138.58
増減率(%)	0.7%	13.2%	17.5%		
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期中間)	72,604	3,002	2,541	1,451	22.63

(2) 通期業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年7月26日発表)	156,000	9,800	8,900	5,150	82.03
今回修正予想(B)	158,000	10,500	9,900	3,600	57.34
増減額(B-A)	2,000	700	1,000	8,750	139.37
増減率(%)	1.3%	7.1%	11.2%		
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	150,242	8,206	7,576	3,763	59.00

3. 業績修正の理由

当社の持分法適用関連会社である株式会社アイネス(持分比率23.9%。以下、「アイネス社」)は、公共(自治体)向け事業の不振、及びソフトウェア資産の評価減、並びに繰延税金資産の一部取り崩しによる業績悪化に伴い、平成20年3月期の業績予想を大幅に下方修正いたしました。

この結果、当社の連結業績は、持分法損益が大幅に悪化するとともにアイネス社株式取得時に発生したのれん相当額の未償却残高を一括償却し特別損失に計上いたします。

一方、当社個別業績は、アイネス社の株価が取得時より下落しているため、回復の見込みについて慎重に検討を重ねた結果、減損処理を実施し特別損失に計上することといたします。

(1) 中間業績

当社の基盤事業であるシステム開発が好調であった他、ソフトウェア&パッケージも堅調に推移し、連結業績の営業利益は5,200百万円と前回発表予想を500百万円上回る見通しであります。しかしながら、アイネス社の業績悪化により、持分法損益として営業外損益に1,400百万円の影響を与える他、のれん相当額の未償却残高の一括償却として特別損失に2,900百万円計上する見込みであります。この結果、連結経常利益は3,600百万円、連結中間純損失は1,700百万円の見込みであります。

一方、個別業績は、営業利益が4,800百万円、経常利益が4,700百万円と前回発表予想をそれぞれ560百万円、700百万円上回る見通しであります。アイネス社の株価が取得時より下落しているため、回復の見込みについて慎重に検討を重ねた結果、減損処理を実施し特別損失に9,400百万円を計上する見込みであります。この結果、中間純損失は6,700百万円の見込みであります。

(2) 通期業績

連結業績は、中間期と同様、売上高は堅調に推移することが予想され、利益については、原価低減等によるシステム開発の粗利益改善等により、連結営業利益は11,500百万円と前回発表予想を700百万円上回り、連結経常利益は予想と同じ9,800百万円となる見通しであります。なお、連結当期純利益は、のれん相当額の未償却残高の一括償却の影響により、2,000百万円となる見込みであります。

一方、個別業績は、営業利益10,500百万円、経常利益9,900百万円と前回発表予想をそれぞれ700百万円、1,000百万円上回る見通しであります。アイネス社株式の減損処理の影響により、当期純損失は3,600百万円となる見込みであります。

(3) 配当金

配当金につきましては、今回の業績予想の修正による変更はなく、当初の計画どおりお支払する予定であります。

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前回発表予想	1株につき15円	1株につき15円	1株につき30円
今回発表予想	1株につき15円	1株につき15円	1株につき30円

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

以上